

# 原発のない社会へフクシマを忘れない

## 被災者と連帯



集会後、関電滋賀営業所前を通過し西武百貨店前まで元気よくデモ行進。日本共産党湖南地区委員会のデモの先頭を歩く、左から小西・岡田・山岡の各議員。

「原発のない社会へ」(同実行委員会主催)が、東日本大震災・福島原発事故から7周年目の11日(日)にポカポカ陽気の天津市膳所公園で開催され、「原発はいらない」の一点で共同する市民約1000人が参加。

「福島原発事故を忘れることなく、被災した人々と連帯を強め、原発のない社会を」との集会アピールを採択。福井原発訴訟の弁護士団長井戸謙一弁護士が基調報告、平尾道雄米原市長、村西俊雄元愛荘町長が連帯挨拶しました。

開会中の甲賀市議会でも、日本共産党議員団は『仮称「原発ゼロ法案」の早期制定を求める』意見書を提出していますが、各党派・議員の態度が問われます。

## 岡田・小西議員の一般質問の概要

### 土山中央公民館、洋式トイレ整備に

①介護人材確保②公民館の老朽化に伴う対策③コミュニティバスの運行改善④桜ヶ丘区法面崩壊箇所の復旧工事⑤閉校・閉園後の施設利活用の5項目について質問しました。介護人材確保は、事業所と一体になり確保対策を研究し施策につなげたいとの答弁。水口中央公民館は地域の意見を聞き建替え含め検討、土山中央公民館は洋式トイレ整備を計画、コミバスの土山旧道や末田の運行については検討とのこと。桜ヶ丘区道路の復旧工事は早期改善に向けて土地所有者と協議していく、閉校・閉園後の利活用は地域住民のニーズを捉え検討していくとの答弁でした。

### 信楽町勅旨の西恩寺橋は拡幅の検討

①12月議会に続いて信楽町勅旨の西恩寺橋の拡幅を求めたところ長寿命化による修繕対応が必要で拡幅も検討とのこと大きく前進。②大戸川のダムに頼らない治水対策の推進では、甲賀市へのダムの地水効果はなく、河川整備計画は今後見直されるとのこと。③旧甲賀病院跡地を「医療と福祉」ゾーンに対しては、考えていないとのこと。④信楽、土山地域での乳幼児健診の再開を求めました。新年度から信楽では乳児健診が再開されますが、市内どの地域においても均しく行政サービスが受けられなければならないとの答弁で、市内全域での実施にむけるとのことでした。

岡田重美議員

小西喜代次議員

## 予算議会

## 全議員による予算決算常任委員会で集中審査

会期末は26日。9日に17人の議員による一般質問が終了し、12日から16日まで予算決算常任委員会で集中審査が行われ、16日の最終日には小西議員が反対討論を行いました。

19日から、各常任委員会が特別会計などの付託議案が審査され、26日の最終日に請願、意見書案含む全議案の採決が行われます。

## 衆院小選挙区の開票不正集計で、議会特別委員会設置へ

この件で市選管は6日に臨時の委員会を開き、弁護士や選挙事務の専門家ら5人の外部の有識者らでつくる第三者委員会の立ち上げを決めました。

9日に市は、関与したとされる4職員を県警に刑事告発。

議会は議会最終日に、この件での特別委員会の設置が提案される予冷です。

## 日本共産党

## 甲賀市議員団ニュース

2018年 3月 18日 第207号



山岡 光広  
甲南町森尻 16  
TEL 86-2985  
Fax 86-0415



小西喜代次  
信楽町勅旨 456  
TEL 83-0765  
Fax 83-0765



岡田 重美  
土山町南土山甲 78-15  
TEL 66-0696  
Fax 66-0696